

# 2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 ミマキエンジニアリング

2021年8月10日

**DCF-605 PU**



**JV100-160**



**UJV100-160**



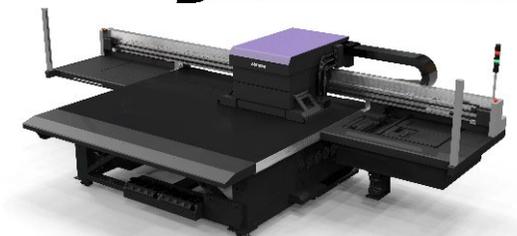
**3DUJ-2207**

**Tiger-1800B MkIII**



**TS100-1600**

**JFX600-2513** **NEW**  
**JFX550-2513**



(2021年夏発売開始)

# 2022年3月期 連結業績

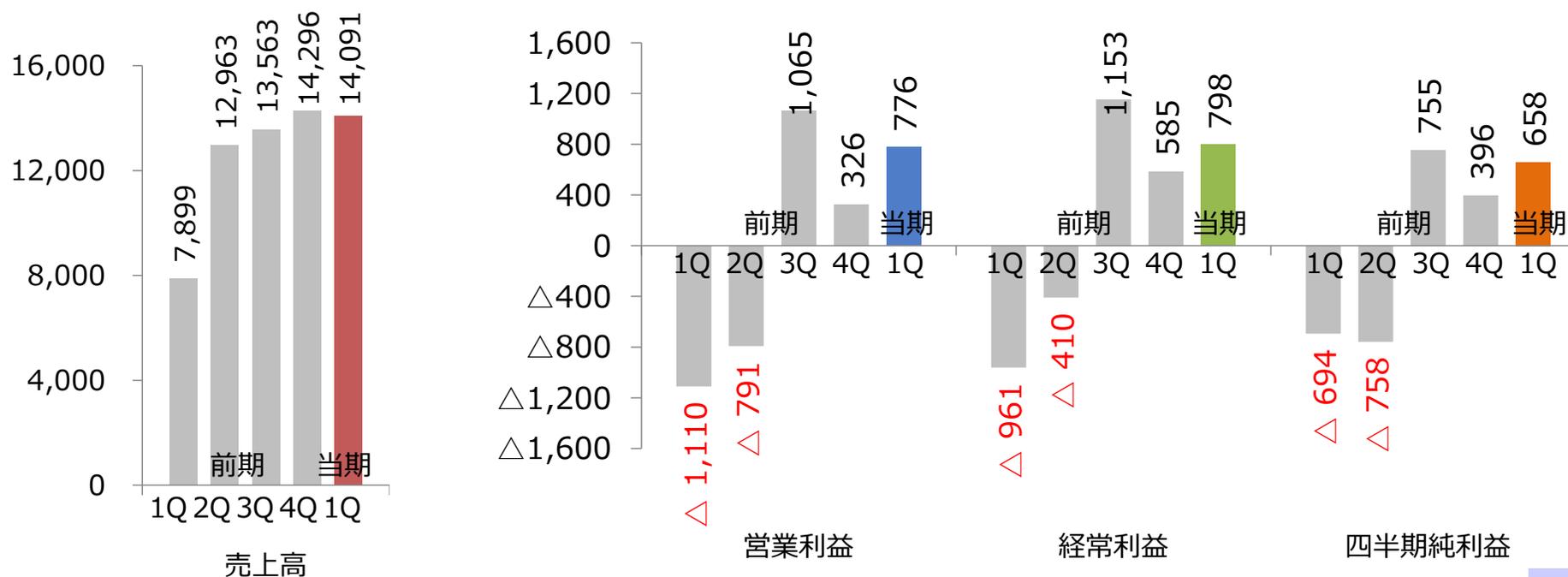
❖ 第1四半期実績

❖ 上期・通期予想

# 連結業績ハイライト (2022年3月期 1Q実績)

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期				
	1Q実績	売上高比率	1Q実績	売上高比率	前年同期比増減		
					金額	率	率 (為替除)
■ 売上高	7,899	—	14,091	—	6,192	78.4%	70.7%
■ 営業利益	△ 1,110	△ 14.1%	776	5.5%	1,886	—	—
■ 経常利益	△ 961	△ 12.2%	798	5.7%	1,760	—	—
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 694	△ 8.8%	658	4.7%	1,353	—	—
為替 米ドル	107.62円	—	109.49円	—	1.87円	1.7%	—
(期中平均) ユーロ	118.47円	—	131.95円	—	13.48円	11.4%	—

※「収益認識に関する会計基準」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、売上高は51百万円増加、営業利益は22百万円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しています。詳しくは決算短信注記をご参照下さい。



# 1Q 連結業績のポイント

世界経済の回復に伴う顧客の設備投資や印刷需要の増加に加え、新製品投入効果及び為替の円安効果もあり、業績が大幅に伸長

## ■売上高

- 前年同期比 +78%の6,192百万円増収(内為替影響 +606百万円)  
全ての地域・市場で大幅な伸長、予想比も上振れ、一昨年同期比では +6%
- 部品・原材料不足や輸送LT長期化の影響を受けた一方、期初予想を上回る需要の回復に加え、JV/UJV100-160やTS100-1600等の新製品も貢献
- SG市場向けは経済活動の活発化に伴う需要増で +87%、予想比上振れ
- IP市場向けは工業製品やノベルティグッズ等の需要増で +96%、予想比上振れ
- TA市場向けはアパレル製品の需要回復で +138%、予想比は下振れ

## ■営業利益

- 輸送費や原材料の高騰影響を受ける中、販管費は製品稼働率上昇や新製品立ち上げに伴う製品補修費、販売活動活発化に伴う関連費用、計画休業解除に伴う人件費等が増加したものの、全体では一昨年同期水準以下に抑え、増収効果及び為替円安効果により前年同期比 1,886百万円増益(内為替影響 +246百万円)

## ■バランスシート

- 重点指標のCCC\*は、機会損失を回避するため、輸送LT長期化や部品・原材料不足に対応した在庫確保のオペレーションにより、3/末比では増加

2020/6/末:7.91月→9/末:4.52月→12/末:3.70月→2021/3/末:3.60月→6/末:4.22月

\*CCC : Cash Conversion Cycle、今期から破産更生債権を含めたため、前期開示値から数値が変化

# 営業利益増減要因

(21/3期1Q vs 22/3期1Q)

(単位：百万円)

## 【通貨別影響額】

USD	107.62円	→	109.49円	+29
EUR	118.47円	→	131.95円	+268
CNY	15.17円	→	16.96円	△99
AUD	70.64円	→	84.31円	+51
TRY	15.71円	→	13.04円	△32
その他 (BRL、IDR、INR等)				+28
			合計	+246

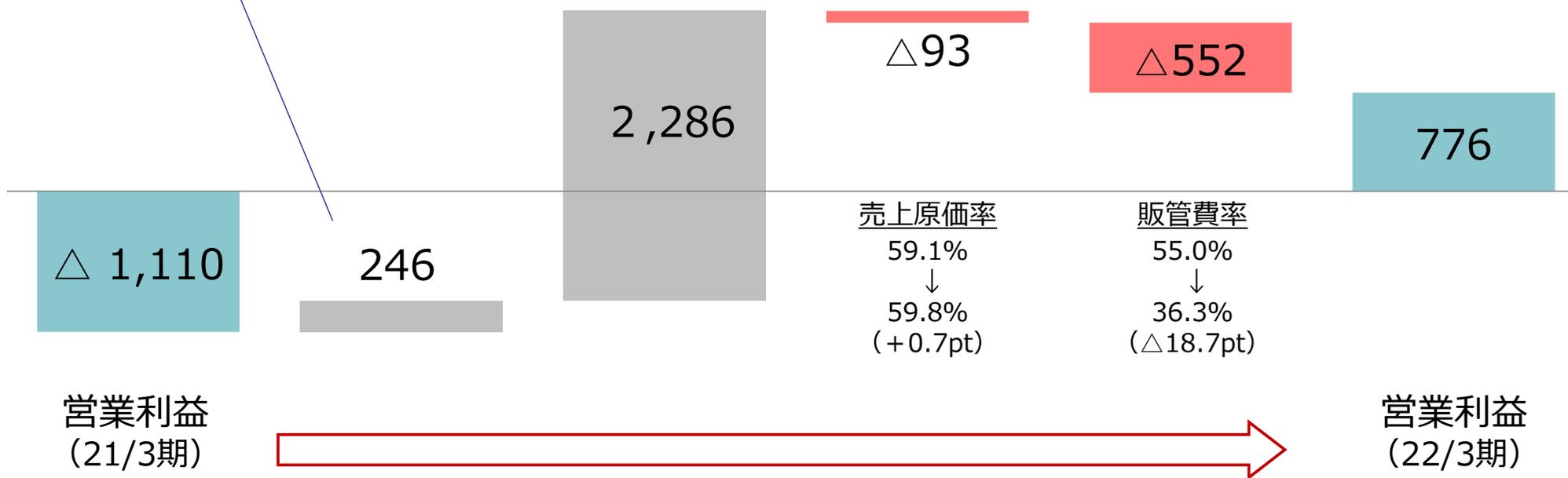
## 【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 606 - 売上原価 225 - 販管費 134 = 営業利益 246

## 販管費増減の要因

製品補修費	287
研究開発費	135
貸倒引当金	△125
販促費	122
運搬費	53
人件費	49
その他	31
合計	552

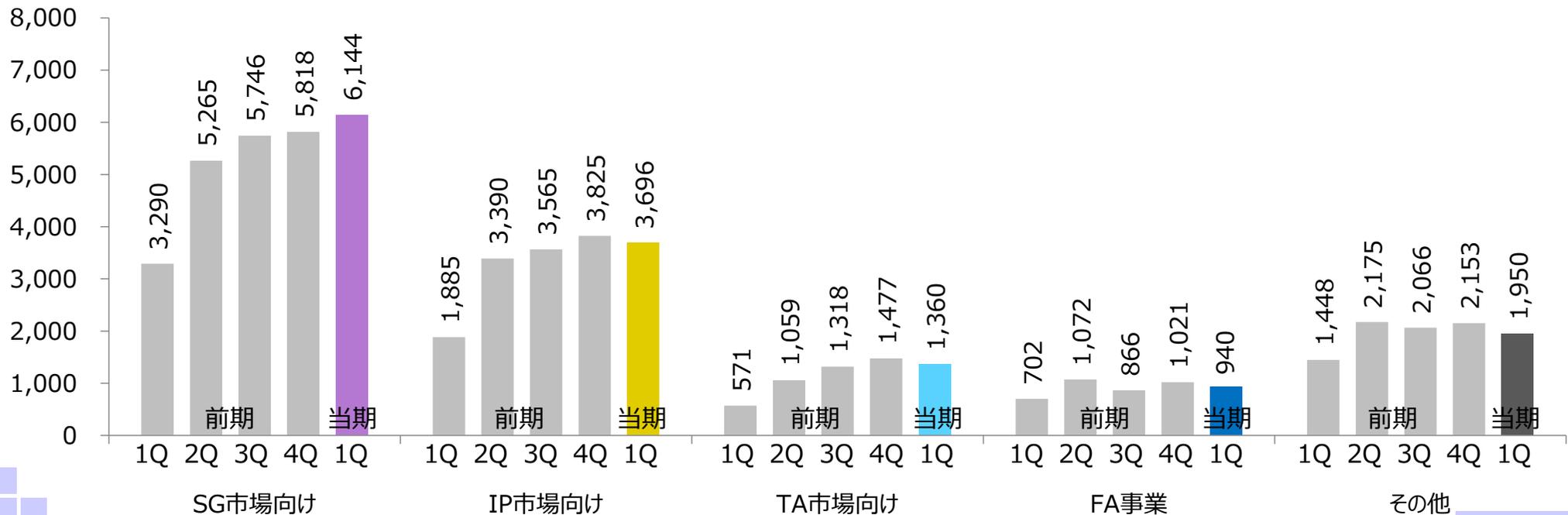
- ①為替影響      ②売上高増減影響      ③売上原価率増減影響      ④販管費増減影響



営業利益 18億86百万円

# 市場別売上高 (2022年3月期 1Q実績)

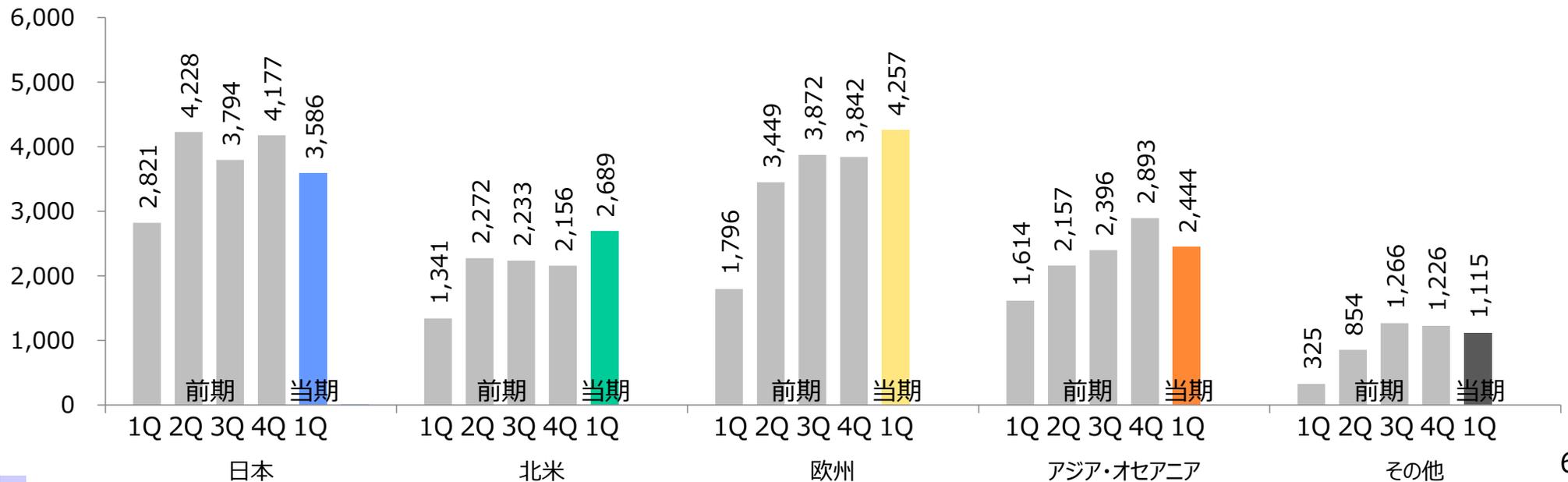
(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期			
	1Q実績	1Q実績	前年同期増減		
			金額	率	率(為替除)
SG市場向け	3,290	6,144	2,854	86.7%	78.0%
IP市場向け	1,885	3,696	1,811	96.1%	85.7%
TA市場向け	571	1,360	788	137.9%	127.7%
F A 事業	702	940	237	33.8%	36.6%
その他	1,448	1,950	501	34.6%	-
合計	7,899	14,091	6,192	78.4%	70.7%



# エリア別売上高

(2022年3月期 1Q実績)

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期	
	1Q実績	1Q実績	前年同期増減	
			金額	率
■ 日本	2,821	3,586	764	27.1%
■ 北米 (現地通貨/\$)	1,341 12.4M	2,689 24.5M	1,347 12.0M	100.5% 97.1%
■ 欧州 (現地通貨/€)	1,796 15.1M	4,257 32.2M	2,460 17.0M	137.0% 112.8%
■ アジア・オセ	1,614	2,444	830	51.4%
■ その他	325	1,115	789	242.2%
合計	7,899	14,091	6,192	78.4%



# 2022年3月期 連結業績

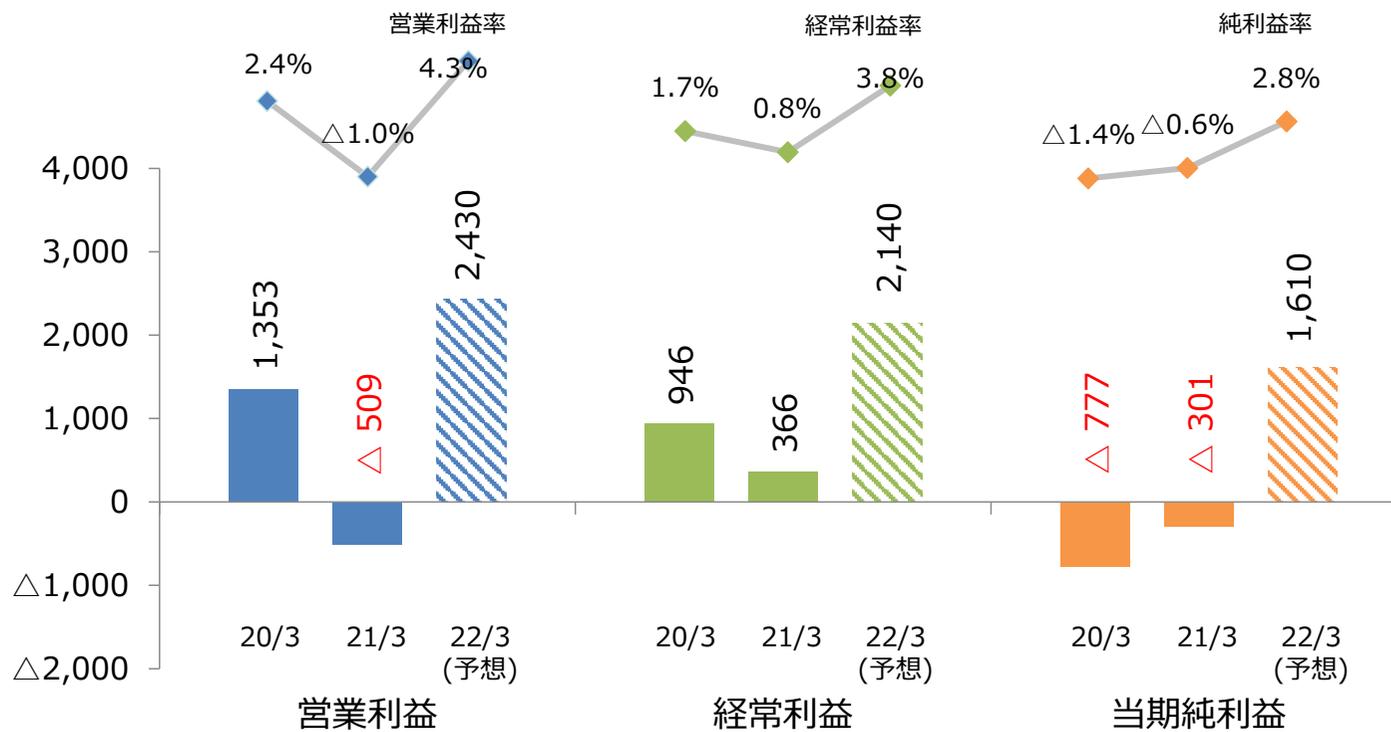
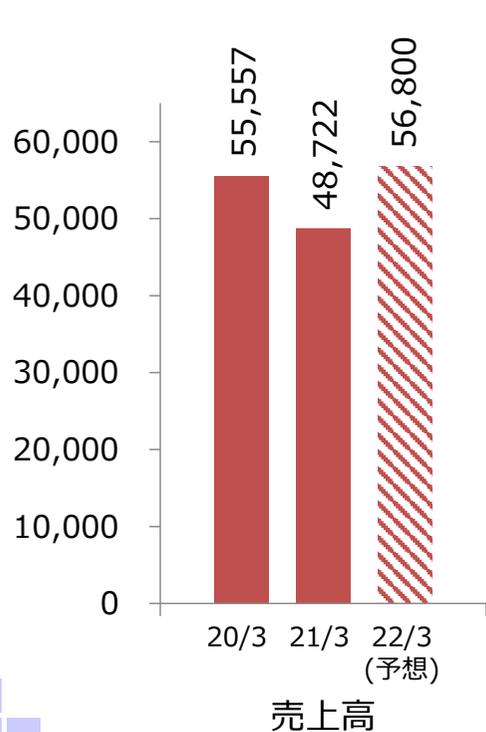
- ❖ 第1四半期実績
- ❖ 上期・通期予想

# 連結業績予想ハイライト

(2022年3月期)



(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期									
	通期実績	売上高比率	上期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	下期予想	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	売上高比率	前回予想比 増減金額	前期比増減		
										金額	率	率(為替除)
■ 売上高	48,722	-	27,400	800	29,400	0	56,800	-	800	8,077	16.6%	15.5%
■ 営業利益	△509	△1.0%	1,020	380	1,410	0	2,430	4.3%	380	2,939	-	-
■ 経常利益	366	0.8%	930	500	1,210	0	2,140	3.8%	500	1,773	484.1%	-
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	△301	△0.6%	750	440	860	0	1,610	2.8%	440	1,911	-	-
為替 米ドル	106.06円	-	107.25円	2.25円	105.00円	0.00円	106.12円	-	1.12円	0.06円	0.1%	-
(期中平均) ユーロ	123.70円	-	128.48円	3.48円	125.00円	0.00円	126.74円	-	1.74円	3.04円	2.5%	-



- 1Qでの上振れ分を上期及び通期業績予想に上乗せ
- 2Q以降については不透明な要素が多いことから、現時点で期初計画からの見直しは実施しない
  - 感染力の強い新型コロナウイルス変異株の影響
  - 部品・原材料不足や、輸送リードタイムの長期化による生産面への影響
  - 輸送費及び原材料の高騰による利益面への影響
- 2Q以降も中長期成長戦略「Mimaki V10」で定めた重点施策に基づき、グループ一丸となって取り組む
  - 新製品の市場投入と販売拡大
  - 市場環境や顧客ニーズの急激な変化を見据えた事業展開
  - 収益性向上に向けた基盤構築

# 営業利益増減要因

(21/3期実績 vs 22/3期計画)

(単位：百万円)

### 【通貨別影響額】

USD	106.06円	→	106.12円	+3
EUR	123.70円	→	126.74円	+256
CNY	15.67円	→	16.62円	△84
AUD	76.17円	→	78.83円	+33
TRY	14.51円	→	13.91円	△27
その他 (BRL、IDR等)				△43
合計				139

<為替感応度 (1円/年) >

	売上高	営業利益
USD	113	57
EUR	124	84

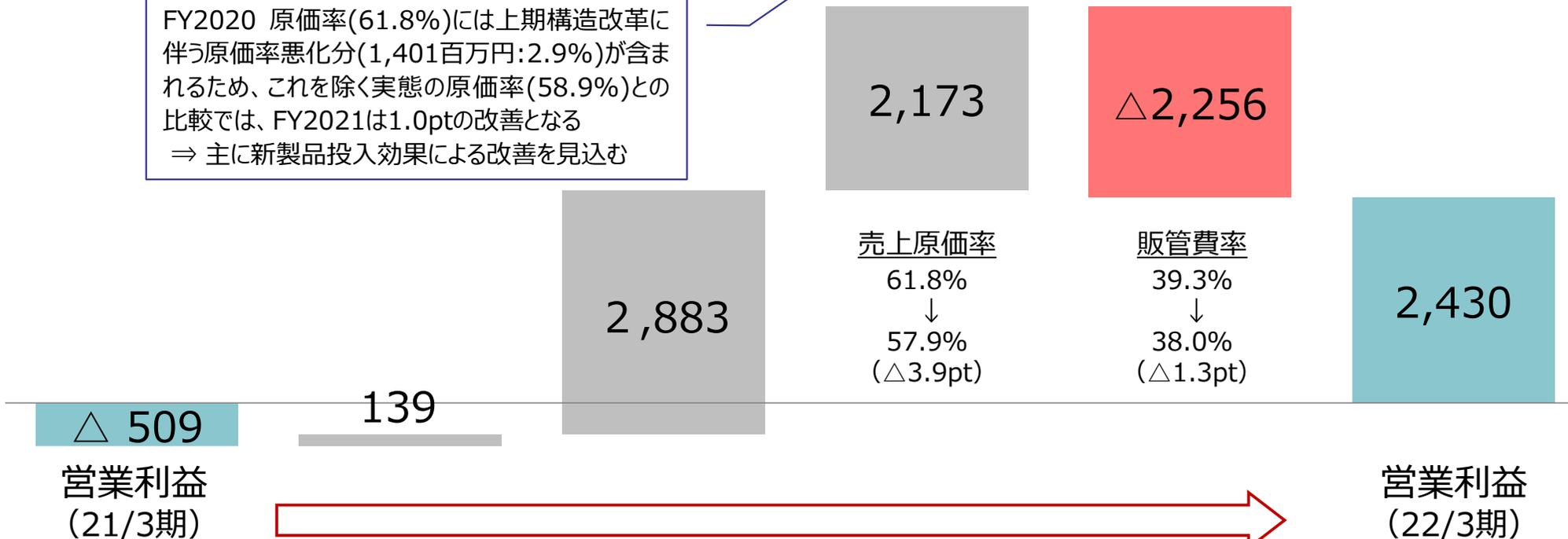
### 【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高529 - 売上原価257 - 販管費132 = 営業利益139

- ①為替影響    ②売上高増減影響    ③売上原価率増減影響    ④販管費増減影響

### 売上原価率改善の要因

FY2020 原価率(61.8%)には上期構造改革に伴う原価率悪化分(1,401百万円:2.9%)が含まれるため、これを除く実態の原価率(58.9%)との比較では、FY2021は1.0ptの改善となる  
⇒ 主に新製品投入効果による改善を見込む



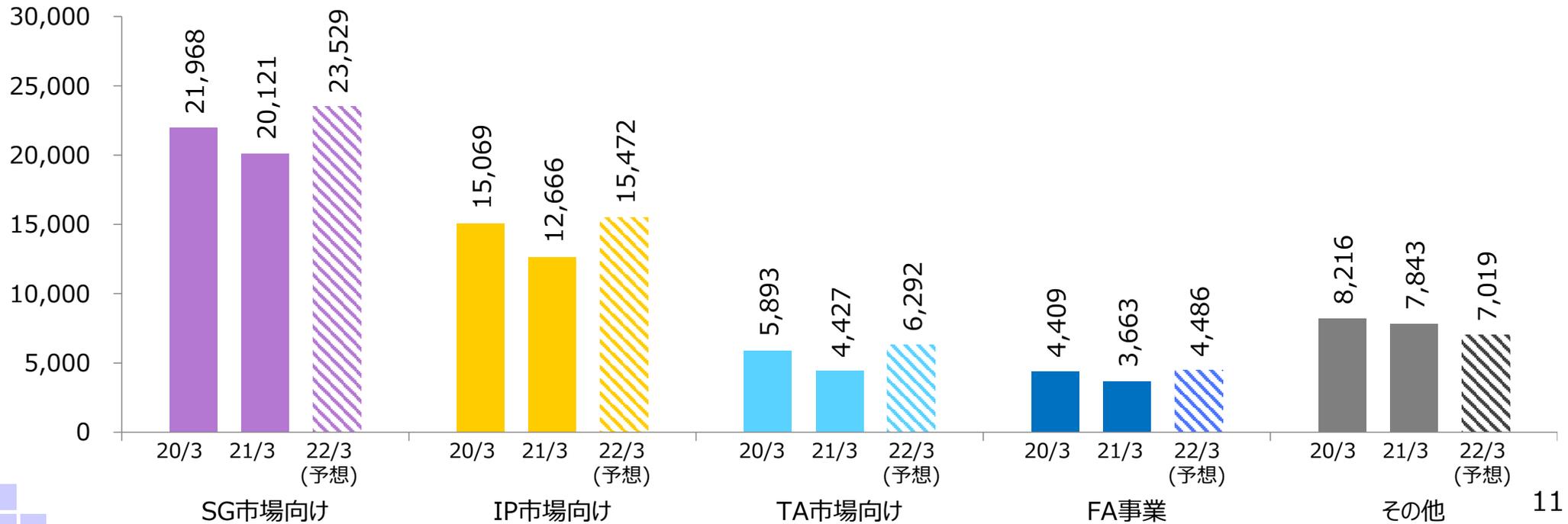
営業利益 29億39百万円

# 市場別売上高予想

(2022年3月期)



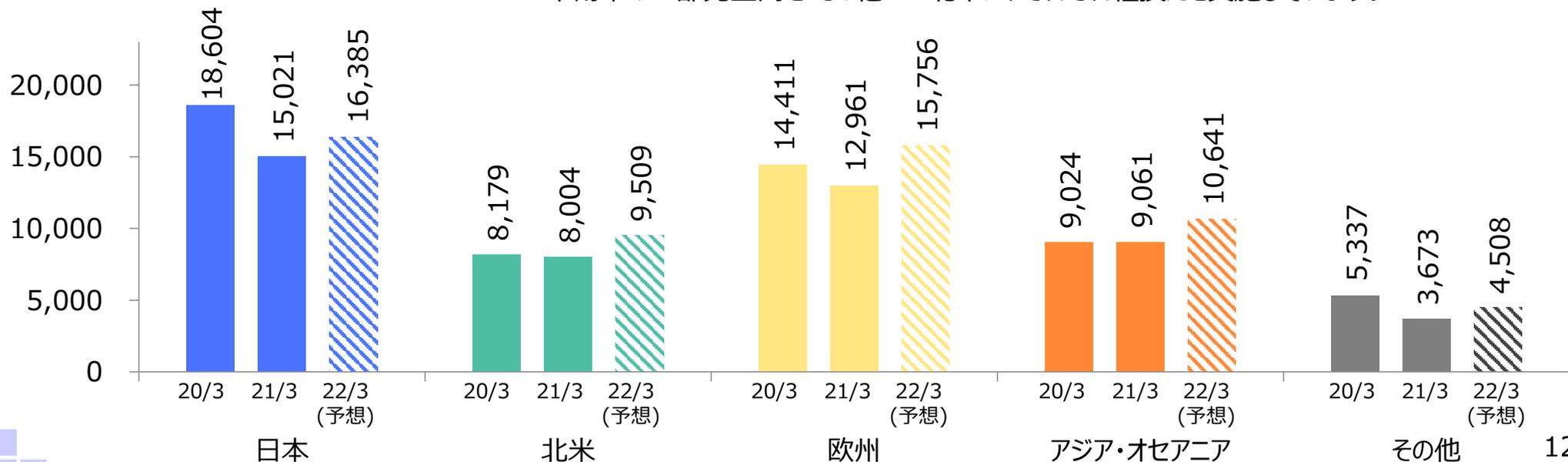
(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期									
	通期実績	構成比率	上期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	下期予想	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	前期比増減			構成比率
									金額	率	率(為替除)	
SG市場向け	20,121	41.3%	11,778	335	11,751	0	23,529	335	3,408	16.9%	15.7%	41.4%
IP市場向け	12,666	26.0%	7,085	331	8,387	0	15,472	331	2,805	22.2%	21.0%	27.2%
TA市場向け	4,427	9.1%	2,856	△ 184	3,436	0	6,292	△ 184	1,864	42.1%	40.2%	11.1%
F A 事業	3,663	7.5%	2,056	△ 171	2,430	0	4,486	△ 171	822	22.5%	21.6%	7.9%
その他	7,843	16.1%	3,623	489	3,396	0	7,019	489	△ 824	△ 10.5%	-	12.4%
合計	48,722	100.0%	27,400	800	29,400	0	56,800	800	8,077	16.6%	15.5%	100.0%



# エリア別売上高予想 (2022年3月期)

(単位：百万円)	2021年3月期		2022年3月期								
	通期実績	構成比率	上期予想 (修正) ※	前回予想比 増減金額	下期予想 ※	前回予想比 増減金額	通期予想 (修正)	前回予想比 増減金額	前期比増減		構成比率
									金額	率	
■ 日本	15,021	30.8%	7,789	△ 238	8,596	△ 279	16,385	△ 517	1,363	9.1%	28.8%
■ 北米	8,004	16.4%	4,840	839	4,669	340	9,509	1,179	1,504	18.8%	16.7%
現地通貨 / \$	75.4M	-	45.1M	7.0M	44.4M	3.2M	89.6M	10.3M	14.1M	18.7%	-
■ 欧州	12,961	26.6%	7,501	137	8,255	0	15,756	137	2,794	21.6%	27.7%
現地通貨 / €	104.7M	-	58.3M	△ 0.6M	65.9M	0.0M	124.3M	△ 0.6M	19.5M	18.6%	-
■ アジア・オセ	9,061	18.6%	5,026	355	5,615	279	10,641	634	1,579	17.4%	18.7%
■ その他	3,673	7.6%	2,243	△ 292	2,265	△ 340	4,508	△ 632	835	22.7%	7.9%
合計	48,722	100.0%	27,400	800	29,400	0	56,800	800	8,077	16.6%	100.0%

※ 1Q実績及び今後の見通しを踏まえ、2Q以降のFA事業の一部売上高を 日本 → アジアに、中南米の一部売上高を その他 → 北米に、それぞれ組換えを実施しています。



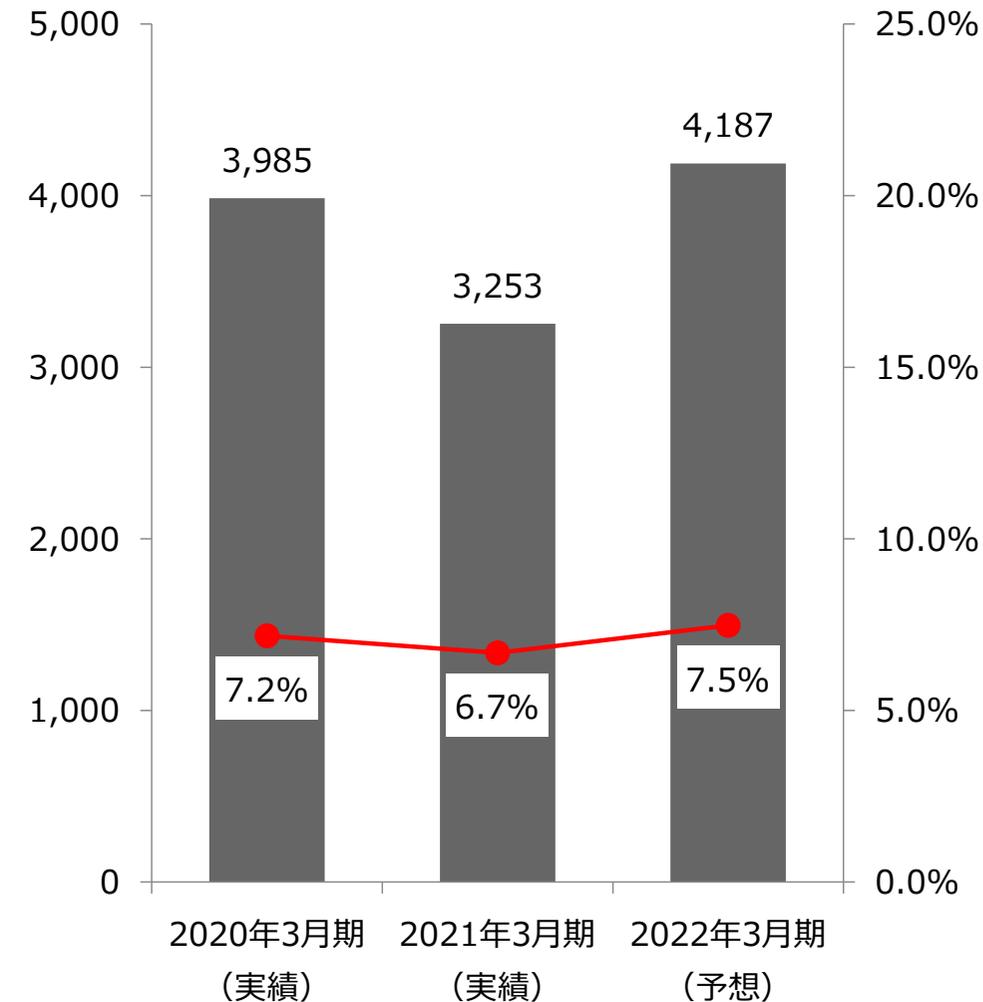
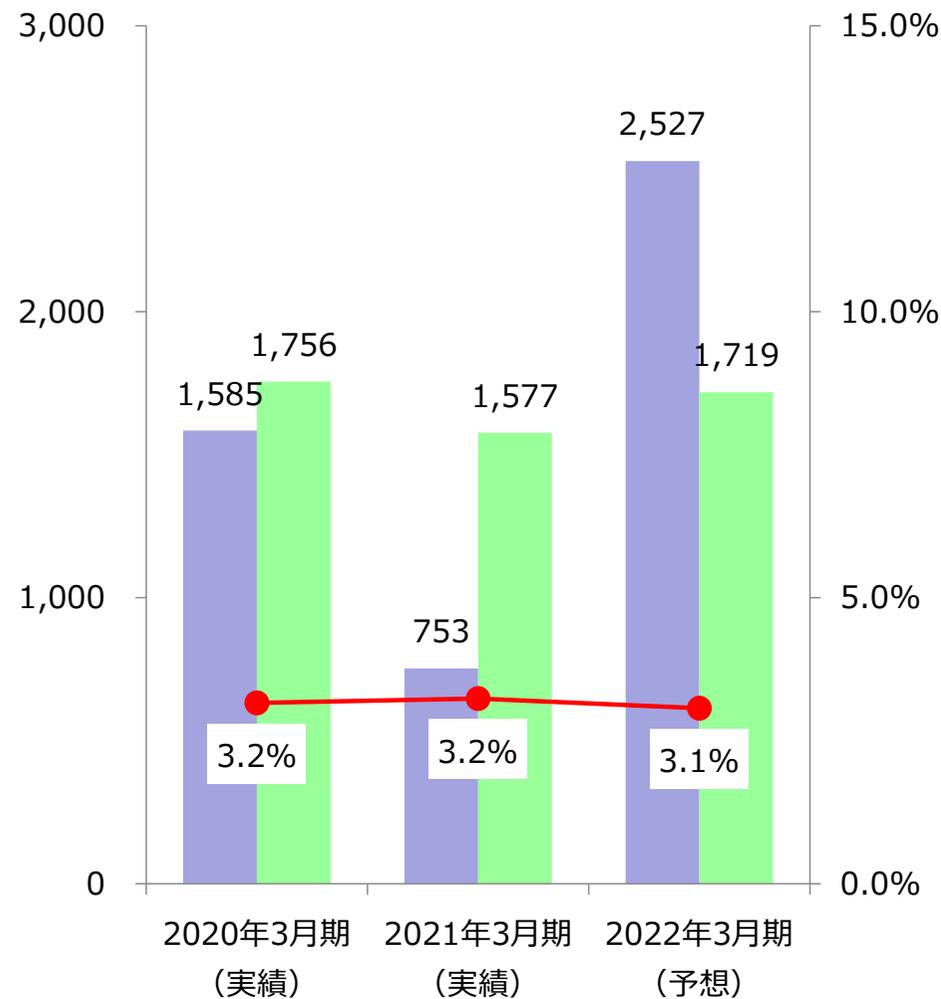
# 設備投資、減価償却、開発投資予想

(百万円)

(百万円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率

■ 開発投資 ● 対売上比率



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

## 株主還元の方針

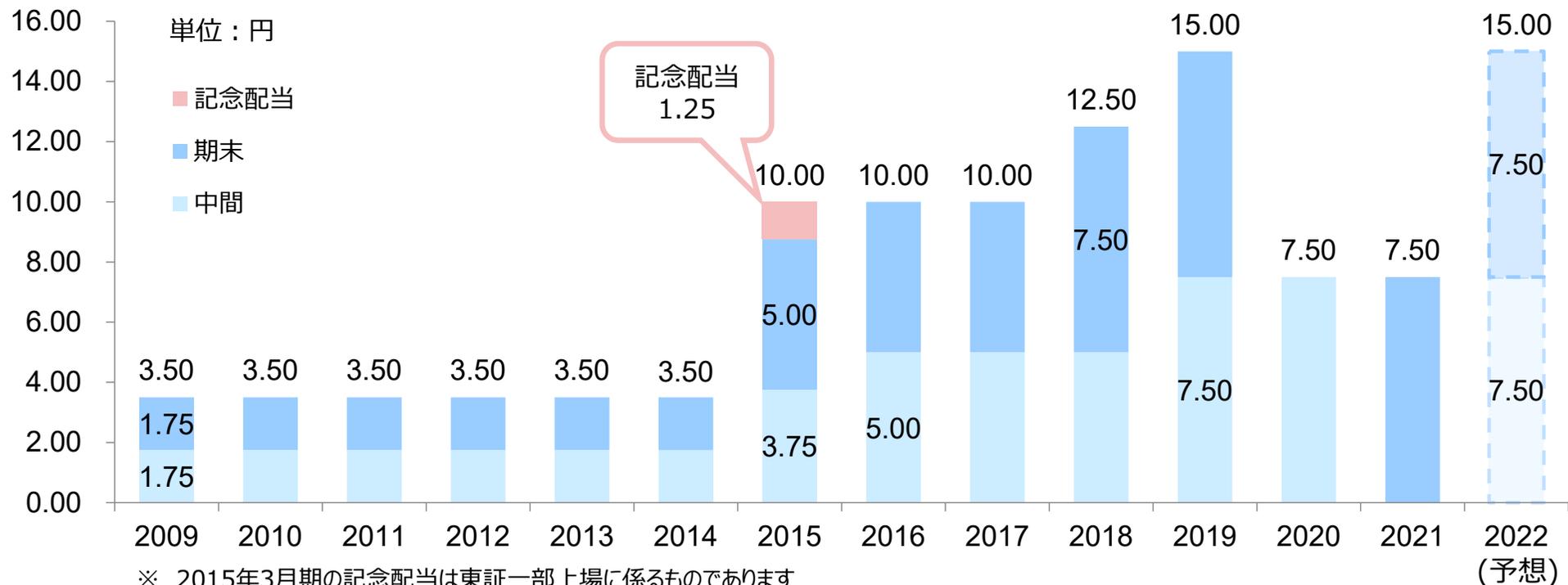
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

### ■ 2021年3月期 期末：7.5円に復配

2021年3月期中間期は無配としたものの、同下期の期間損益が黒字転換したこと、今後の事業見通し及び株主還元方針を総合的に勘案し、期末配当は7.5円に復配

### ■ 2022年3月期(予想) 中間：7.5円、 期末：7.5円

当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は訴求修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail [mimaki-ir@mimaki.com](mailto:mimaki-ir@mimaki.com)

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。